

歌舞伎の“三カタ”

歌舞伎ウラオモテ講座 附け打ちさんと語る歌舞伎の楽しみ



“三カタ”を知れば面白い！
これであなとも歌舞伎通！



山崎 徹

T²Generation代表。附けの會主宰。歌舞伎附け打ち。1969年2月28日生。1992年より国内外での花形歌舞伎・大歌舞伎公演を中心に従事。これまでの主な担当公演は、渋谷コクーン歌舞伎・平成中村座公演（国内・海外）シリーズ、歌舞伎NEXT「阿豆流為」（2015）・赤坂大歌舞伎「赤目の転生」（2017）・「風の谷のナウシカ」（2019）・滝沢歌舞伎（2016-2022）、また宝塚雪組「るろうに剣心」（2016）・サンリオピューロランド「KAWAII KABUKI」（2018-2023）・花組芝居「地獄變」（2020）など、その他多くの公演において技術指導・録音での参加をしている。海外公演は1997年12月松竹大歌舞伎PARIS-Bordeaux公演（五世常十郎・四世雀右衛門）から参加。日々、歌舞伎に寄り添いながらその経験を活かし多彩な分野のコラボレーション作品で音附けのチャレンジを続けている。「附けの會」では、伝統芸能の魅力を伝える會として、全国各地での企画公演、地歌舞伎との技術交流・学校公演・こども向けワークショップなどを開催中。

三浦 広平

東京深川生まれ。立教大学文学部卒、日本大学芸術学研究科修了。イヤホンガイド40周年記念オーディションに入選し、解説員に。初解説は2016年8月国立劇場、稚魚の会・歌舞伎会合同公演「寿曾我対面」。著作に「近代歌舞伎年表名古屋篇」、「歌舞伎俳優名跡便覧」など

附け打ちとは？

附けとは登場人物の動きや力強さを強調させることで、物語を印象付けるために使われます。主役が登場する重要な場面や、衣裳の変わる様子（ぶっかえり）、大道具の転換（せり上げや屋台崩し）や小道具の仕掛けの印象づけなどにも使われます。「芝居に音を付ける」ことから、「附け」と言われます。この附けを打つものを「附け打ち」と呼びます。附け打ちは舞台の上手に登場して、附け板と附け木の二つの道具を使って音を出します。

「敷居が高そう」「難しそう」というイメージのある歌舞伎を楽しいエピソードを交えてトーク形式で解説！歌舞伎の効果音ともいえる「附け」を打つ「附け打ち」と、音声ガイド「イヤホンガイド」の解説者が歌舞伎のウラもオモテも分かりやすくお伝えします。松竹歌舞伎公演に先駆け、ツウも初心者も楽しめるカブキトークショーです。

松竹歌舞伎舞踊公演 開催記念講座

2022年

6月12日 [日]

13:00開演 12:30開場

武蔵村山市民会館

（東京都武蔵村山市本町1-17-1）

小ホール

料金 500円 《全席自由》

※未就学児入場不可

チケット発売日 2022年 5月28日 [土]

電話 10:00 ~ 初日は電話予約のみ、定員に達し次第、受付終了。

チケット取扱い 窓口・電話

武蔵村山市民会館
TEL 042-565-0226 (9:00~22:00/休館日除く)

※チケット購入後のキャンセル・払い戻しはできません。
※車いす席をご利用の方は購入前にお申し出ください。

お問い合わせ

武蔵村山市民会館

〒208-0004 東京都武蔵村山市本町1-17-1

TEL 042-565-0226

※休館日：毎月第一月曜日
※武蔵村山市民会館ウェブサイトからお問合せいただけます。
※新型コロナウイルス感染症対策については武蔵村山市民会館ウェブサイトをご確認ください。

主催 武蔵村山市民会館（指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス） 協力 株式会社イヤホンガイド

